

{ 学芸員のある1日 }

【大阪市立科学館】学芸員 江越 航さん

星空と宇宙に憧れる少年期を過ごす。大阪大学で宇宙物理学を学び、同大学院の修士課程を修了。公設試験研究機関の研究員を経て、2005年に同館学芸員に転職。プラネタリウム、天文関連の分野を担当。



プラネタリウムで「宇宙愛」を叫ぶ!

昨年リニューアルした大阪市立科学館のプラネタリウムは、世界初の超新星投影を可能にした投影機「インフィニウムΣ-OSAKA」や、世界最大級の直径26.5mドームはもちろんのこと、学芸員による生の解説が好評です。「やはり地域性といえますか、関西では学芸員の個性を活かした生解説が人気ですね」

とは、自らも解説員として頻りにマイクを握る江越航さん。投影の際にはコンソール(操作卓)にスタンバイして自由自在に天空の星を操り、江越さんならではの考察と雑学を交えたユーモラスな解説を展開。「投影のテーマや構成案は学芸員が考えて台本を作成し、それに沿った投影機のプログラミングも行います」と、ほぼすべてが自主制作なのです。

またその一方で、機関誌「月刊うちゅう」

の原稿執筆、展示に使用する星図の作成と、江越さんの仕事は多岐にわたります。特に星図へのこだわりは強く、既存のデザインソフトを改良して、よりビジュアル性の高い星図を表現できるソフトを自作してしまったほど。江越さんの仕事からは、星空の魅力を一人でも多くの人に伝えたい…そんな宇宙愛がひしひしと伝わってきます。



9:30 A.M.

今月の星図づくり

天空の星の位置は毎日変わります。この日の朝は自作のソフトで今月の星図づくり。机に広げているのは、ソフトの操作マニュアル!よりカッコいい星図にするための作業は続きます。



3:45 P.M.

プラネタリウム投影本番!

午後4時からの投影に向けてコンソールにスタンバイ!この席でプラネタリウムの操作をしながら、マイクで解説…と大忙し。ときには客席に出て解説することもあるそうです。



「月刊うちゅう」

宇宙や科学、実験などさまざまな記事が満載の機関誌「月刊うちゅう」。学芸員が執筆をするほか、館外の専門家にも原稿を依頼。科学館HPでも読むことができます。

1:30 P.M.



プラネタリウムのテスト投影

昨年プラネタリウムのリニューアルに伴い設置した試験投影機。番組のプログラムが実際にどのように見えるか?左側にあるテストドームに投影しながら調整します。

138億年の時を旅しよう!



©大阪市立科学館/EXPJ/NASA/ESA

宇宙138億年の歴史がみんなの体の中に!?

すべての原子には138億年前のビッグバンで宇宙が誕生した際に生まれた陽子が含まれています。もちろん、人間の体も無数の原子の集まりですから、私たちの体にも宇宙138億年の歴史が流れている…ということになります。プラネタリウムで8/30まで投影予定の『宇宙ヒストリア』では、そんな138億年の壮大な宇宙の歴史を体感できます。

コレクション・ギャラリー #02

2021年度開館! 大阪中之島美術館の名作

「郵便配達夫」佐伯祐三 1928年

大阪生まれの画家・佐伯祐三の代表作。東京美術学校卒業後に渡仏し、パリの街角をモチーフにした作品を多く描きました。この作品はパリの佐伯家に偶然訪れた郵便配達夫をモデルに描かれたもので、力強く直線的なフォルムが特徴的です。このとき佐伯は病の床にあり、作品を完成させた数ヵ月後30歳で逝去。この作品が短い画家人生最後の人物画の一つとなりました。



佐伯祐三 (1898-1928)



ミュージアムはタイムマシンだ!



45万年前から近未来まで大阪と世界の歴史を時間旅行!



TAKE FREE
大阪市内
6ミュージアムの
トピックス
2020
7月-9月

ナウマンゾウが歩いた、都が花開いた 未知のタイムゾーンを旅する

今歩いているこの場所が、45万年前にはどんな場所だった？ 100年前にはどんな街だった？
ミュージアムに行けば、まるでタイムマシンのように時空をひとつ飛び、
好きな時代に行って、ひとときの時間旅行に出かけよう。



大阪市立自然史博物館

大阪大学で発見された
約7mの大ワニ
「マチカネワニ」45万年前
(レプリカ)

1964年5月、豊中市・待兼山にある大阪大学の校舎建設現場付近で数個の化石が発見されました。それをきっかけに大阪市立自然科学博物館*と研究者らによる共同発掘調査がスタート。45万年前の地層から見つかった世界初の新種の大ワニの化石ということがわかりました。体長およそ7m、体重1.3tというビッグサイズなのも驚きです。

*大阪市立自然史博物館の前身
写真/ケイエスティクリエーションズ(中山英理子)



大阪市立東洋陶磁美術館

後漢時代の
最先端高層ビル！
「緑釉樓閣」
中国・後漢時代 / 2~3世紀

古代中国の権力者たちは、来世でも現世と変わらぬ暮らしを願い、身の回りの品や人物を象った明器を墓に副葬しました。四階建ての楼閣は物見櫓で、当時の最先端の高層建築。弓を持つ兵士や音楽を奏でる人、農民などが見られます。美術品コレクターとしても知られた旧安宅産業会長・安宅英一氏が中心となって収集した「安宅コレクション」の一つ。

写真/六田知弘



大阪市立美術館

辟邪デザイン
流行のお洒落水滴

「青銅 辟邪水滴」中国・三国時代 / 3世紀

「辟邪」は想像上の動物で、鹿に似た角を持つ不格好な姿で邪気を避けるとされました。この水滴は背中の筒から水を入れて貯め、口から吐き出すように硯に水を注ぐ文房具です。中国ならではの魔除のデザインで、書齋と水を清浄に保つことを期待されました。関西の実業家・山口謙四郎氏によるコレクションの愛すべき逸品です。



大阪歴史博物館

“大阪が都になった日”をリアルに体感

「後期難波宮 大極殿」
奈良時代 / 8世紀(原寸復元)

令和の「即位の礼正殿の儀」でもおなじみの「高御座」(たかみくら)も描かれています。

古代の大阪(難波)は、東アジア世界に向けた交通の拠点であり、外交の窓口でもあったため一時期、大阪が都になったことがありました。最初は
大化元年(645年)、その後、天平16年(744年)、聖武天皇によって再び都になりました。大阪歴史博物館10階古代フロアの「大極殿」は、この都となった日の様子を原寸大のフィギュアによって再現しています。

更新世

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

飛鳥時代

奈良時代

平安時代

大阪市立自然史博物館

氷河時代の大阪平野を
ゾウが行進
「ナウマンゾウ」8万年前(模型)

今から43万~2万年前の日本には体高・牙ともに2m以上もあるナウマンゾウたちが暮らしていました。ゾウはここに人間が暮らしはじめる頃になると、絶滅しました。大阪からも化石が見つかっており、例えば現在の長居公園の地下からは、ゾウの足跡の化石も発見されています。



大阪市文化財協会

古代の
“完全武装”!?

「武人埴輪」

古墳時代中期前葉 / 5世紀前葉

大阪市平野区の長原古墳群で出土した埴輪。野球帽のように“つば”のある「盾庇付冑」や、鉄板を繋ぎ合わせた「短甲」を表す三角模様など、武具の造形が繊細に表現されています。人物埴輪としては最古の部類。



大阪市立美術館

ユルめのタッチが愛らしい
牛若丸は何処に?

「伏見常盤絵巻」(部分)
室町時代 / 16世紀

時は平安末期。源義朝の死後、追手から逃れるため今若、乙若、牛若(源義経)の3人の子を連れて大和へと向かう常盤御前の物語を綴った絵巻物。山道をさまよひ、伏見木幡にたどりつくと、里の老夫婦に暖かく迎え入れられた親子。ほっと安堵して楽しむ表情や時代の装束が、ややユルめのタッチで色鮮やかに描かれています。

大阪の人と街と暮らし。時空のパノラマ

ミュージアムにあるいろんな作品や展示を眺めていると、その時代の街並や、ファッション、人々の暮らしのスタイルが見えてきます。おなじみのあの場所、このストリート、時代変われば、人も変わる。そんな時間の流れを体感できるのも、ミュージアムならではの魅力。



大阪市立美術館

800年たっても金色がキラリ☆
日本古来の修験道の本尊

「金銅 蔵王権現立像」

鎌倉時代 / 13世紀

奈良・金峯山で修行した役行者が開いた山岳宗教「修験道」の本尊。鬼の形相で片脚立ち、腕を振り上げた姿は迫力満点！同様の蔵王権現像の中でも800年以上を経て鍍金（金メッキ）もしっかり残った希少な作品。大阪市立美術館・田万コレクションの一点です。



大阪中之島美術館

江戸時代の浪花女子
流行通信@大川

「浄瑠璃船」木谷千種
1926年

時は江戸末期、夏の盛りに大川（旧淀川）に舟を浮かべて夕涼みをする人々を描いた作品。手前の船で三味線を弾く女性は、抜いた襟や帯の結び方がほんのり色っぽく。太夫の語りに聴き入るお嬢様は、かんざしから着物の柄まで完璧コーディネート。女性画家ならではの視点で捉えた細やかな描写と登場人物の物語に想像が膨らみますね。

道頓堀の劇場

歌舞伎や映画などのエンタメで華やぐ「芝居のまち」道頓堀。昭和15年（1940年）道頓堀・角座前を再現したものです。

公設市場

大阪市内にあった公設市場をモデルに、昭和15年（1940年）の歳末大売り出し中の鮮魚店の店頭を再現しています。



大阪歴史博物館

No.1だったころの輝ける大阪をリアルに再現
「大大阪の時代の大阪」1930~1940年頃（原寸復元）

大正後期から昭和初期にかけて、大阪市は人口・面積・工業出荷額において東京を凌ぐ世界有数の大都市に成長し、にぎわいを見せていました。そんな大大阪の時代の街並みを実寸大で再現したのが大阪歴史博物館7階フロア。当時の記録映像とともに繁栄するモダン都市・大阪の街をリアルに感じることができます。

鎌倉時代

室町時代

安土桃山時代

江戸時代

明治

大正

昭和

平成

令和

大阪市立東洋陶磁美術館

グラマラスな
スタイルが魅力的

「飛青磁花生」《国宝》

中国・元時代 / 14世紀

鮮やかな青磁に鉄の斑を散らした「飛青磁」は、中国浙江省龍泉窯の作。茶人らが好んで収集しました。「玉壺春」と言われる、ほっそりした頸から豊かに膨らんだ胴部に至るラインが何とも言えず魅力的です。大阪の旧家・鴻池家の伝来品で、類似の壺はイギリスのヴィクトリア&アルバート美術館などでも見られます。

写真 / 六田知弘

大阪市立東洋陶磁美術館

油滴×黄金の美しさは
茶人や関白も虜に!?

「油滴天目茶碗」《国宝》

中国・南宋時代 / 12~13世紀

中国・南宋時代に作られ、日本では室町時代の文献でその名が登場します。さらに安土桃山の関白・豊臣秀次~西本願寺~京都三井家~若狭酒井家へと持ち主が変わったと伝えられている天目茶碗。水に浮かぶ油の滴を思わせる斑点から「油滴」と呼ばれています。口縁部に煌く金の覆輪がデザインのアクセント。

写真 / 六田知弘

大阪中之島美術館

最先端デザイン集団が
椅子をつくるとこうなる

「座るための機械」

ヨーゼフ・ホフマン / 1905年



20世紀初頭に設立された「ウィーン工房」は、住宅、インテリアからドレスに至るまで、ライフスタイル全般をデザインする最先端集団でした。そんな彼らが「ブルカースドルフのサナトリウム」(1904年)を建設した際にデザインされたのがこの椅子。肘掛の球体は、装飾であると同時に背もたれの角度を変える機能をも備えています。

大阪市立科学館

ソロバン以外にもこんな計算機が!?

「タイガー計算器」1923年~

タイガー計算器は戦後の日本で最も普及した、手回し式の卓上計算機。グルグルとハンドルを回すことで足し算・引き算・かけ算・割り算が可能。大本鉄鋼所が大阪の海老江で開発し、1923年に商品化しました。1970年代に電卓が普及するまでは、頻繁に使われていました。アンティークなルックスが今、逆に新鮮で魅力的。



写真のタイガー計算器は昭和30年代の製品



外観イメージ(大阪市提供)

大阪中之島美術館 2021年度開館予定

中之島がアートの中心になる日

「大阪中之島美術館」設計 / 遠藤克彦建築研究所

大阪の中心・中之島に2021年度開館予定。5階建て・延べ面積約2万㎡の黒い直方体の建物の内部には、フロアを縦横に連続するオープンな吹き抜け空間「パッサージュ」が広がり、周囲に巡らされたデッキやカフェ、レストランによって街の賑わいを創出します。約5,700点の所蔵品は、大阪ゆかりの作品や国内外の個性的なコレクションを誇るラインナップ。

OSAKA MUSEUMS ミュージアムの人気グッズ・コレクション

ミュージアム・ショップで販売されている

図録から文房具、エコバッグまでを多彩にラインナップ。展覧会や展示を楽しんだ後の思い出に、また通販で購入できるものもあるから、おうちでゆっくり楽しむこともできます。

大阪市立東洋陶磁美術館



館藏品図録 大阪市立東洋陶磁美術館 コレクション選

¥4,000(税込み)
コットンバッグ ¥500(税込み)
※図録とセットで購入すると¥300(税込み)
国宝を含む館藏品192点を迫力ある美しい写真で紹介する充実の館藏品図録(なんと重さ約2kg!)とオリジナルのコットンバッグ。図録とセットで購入すれば割引価格で購入できます。図録のみ通信販売可能。(FAX注文)



チケットケース

¥360(税込み)
東洋陶磁美術館でも人気の館藏品が大きくあしらわれたカラフルなデザインが楽しい、オリジナルグッズです。チケットを曲げずに保管できるので展覧会のお供にぴったりです。東洋陶磁美術館ミュージアムショップで購入可能。



ミニブック

各¥100~200(税込み)
科学館の学芸員が、専門分野・得意分野について解説した、オリジナルのA5判の冊子。科学ファンの方はもちろん、小中学生のみなさんの夏休みの自由研究の参考にもなる内容です。



科学館ミュージアムショップで購入可能。

大阪市立科学館



大阪歴史博物館



古地図クリアファイル

¥500(税込み)
江戸時代の大坂の町を描いた古地図「浪華名所独案内」のダブルポケットファイルです。江戸後期の神社仏閣や名所が手に取るようにわかります。歴史ファンに人気のアイテムです。大阪歴史博物館ミュージアムショップで購入可能。



大阪市立美術館



展覧会図録 「北斎」

¥2,500(税込み)
今や世界的に人気の浮世絵画師・葛飾北斎の作品をおよそ380品収録。あまりにも有名なあの風景画あり、美人画あり…北斎の魅力を存分に堪能できるボリューム感たっぷりの図録です。市立美術館の通信販売で購入可能。(要梱包料、送料)



大阪市立自然史博物館



外来生物エコバッグ

¥550(税込み)
特別展「知るからはじめる外来生物」に合わせて企画制作したグッズです。地域の自然をみんなで見守り、未来へつないでいこうというメッセージ性もあり、学芸員の松井さんによる生き物の特徴をとらえたイラストもお洒落! 大阪市立自然史博物館友の会ネットショップで購入可能。

虫へん湯のみ

¥1,100(税込み)
会報誌「Nature Study」に掲載していた「中国語講座」シリーズから生まれたグッズです。鳥へん、木へんシリーズもあり、アイテムもTシャツやトートバッグもあります。プレゼントにもユニーク。



気の向くままに、ミュージアム散策を楽しもう!

OSAKA MUSEUMS



本ページ赤字で示した箇所は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展示・開館時間変更になっている施設です。今後の状況で、再度休館となったり、開館内容を変更する場合があります。最新情報は各館HPにてご確認ください。

M = Osaka Metro ★ = OSAKA MUSEUMS 周辺イベント情報

中之島エリア

大阪中之島美術館
2021年度OPEN
外観イメージ(大阪市提供) 設計/遠藤孝彦建築研究所

大阪市立科学館
〒530-0005
大阪市北区中之島4-2-1
☎06-6444-5656
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
※プラネタリウムの最終投影は4:00PMから
※当面の間、プラネタリウムの定員等を変更して開館
[休館日] 月曜(8/10は開館)、9/1

大阪市立東洋陶磁美術館
〒530-0005
大阪市北区中之島1-1-26
☎06-6223-0055
[開館時間] 6/2から当面の間、10:00AM~4:30PM
※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜(祝日・休日の場合は翌平日)、展示替期間
★安藤忠雄設計による「こども本の森 中之島」開館予定

大阪城エリア

大阪歴史博物館
〒540-0008
大阪市中央区大手前4-1-32
☎06-6946-5728
[開館時間] 6/1から当面の間、11:00AM~4:00PM
※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌平日)
※当面の間、常設展示のみの公開

大阪市文化財協会
〒540-0006
大阪市中央区法円坂1-6-41
☎06-6943-6833
[開館時間] 9:00AM~5:00PM
※要事前確認
[休館日] 土曜・日曜・祝日・年末年始

天王寺エリア

大阪市立美術館
〒543-0063
大阪市天王寺区茶臼山町1-82(天王寺公園内)
☎06-6771-4874
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜(8/10は開館)、展示替期間
※当面の間、本館のみの観覧

長居エリア

大阪市立自然史博物館
〒546-0034
大阪市東住吉区長居公園1-23
☎06-6697-6221
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
(11月~2月は4:30PMまで)
※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜(祝日・休日の場合は翌平日)

OSAKA MUSEUMS vol.14 2020年9月発行予定

「OSAKA MUSEUMS」では、大阪市立美術館、大阪市立自然史博物館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立科学館、大阪歴史博物館、大阪中之島美術館、大阪市文化財協会を中心として、大阪市の博物館・美術館の魅力と情報を発信しています。



「OSAKA MUSEUMS」vol.13 2020年6月30日発行
発行/地方独立行政法人 大阪市博物館機構
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内
TEL 06-6940-4330(代表)
制作/丸山印刷株式会社

「OSAKA MUSEUMS」主な設置場所 ▶ 大阪市内の各種情報センター、交通施設、文教施設、観光事業者、ホテル、複合商業施設、区役所ほか